

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月21日

会社名 シダックス株式会社
(URL <http://www.shidax.co.jp>)

(JASDAQ・コード番号: 4837)

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 志太勤一

問い合わせ先 責任者役職名 取締役 経理財務本部長 兼 IR 担当
氏名 荻野 裕

TEL: (03) 5784-8909

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
連結(新規)19社(除外)-社 持分法(新規)1社(除外)-社

- (1) ヴァスフードサービス㈱は、平成18年4月19日付で新たに設立したことにより連結子会社となりました。また平成18年6月12日付で外食事業を譲受け事業を開始しました。
- (2) Shidax USA Corp. は、平成18年4月27日付で米国において新たに設立したことにより連結子会社となりました。
- (3) Restaurant Hospitality, LLC. は、平成18年6月28日付で、当社連結子会社 Shidax USA Corp. が持分の譲受けと持分の出資の引受けをしたことにより連結子会社となりました。
- (4) RA Patina, LLC. 及びその他当該子会社 LLC. 14社は、当社連結子会社 Restaurant Hospitality, LLC. が平成18年6月28日付で持分の譲受けをしたことにより連結子会社となりました。
- (5) 国内フードサービス㈱は、平成18年10月27日付で、当社連結子会社シダックスフードサービス㈱が株式を取得したことにより連結子会社となりました。
- (6) 当社関連会社シスカは、従来持分法を適用しておりませんでした。重要性の判断により当中間連結会計期間より持分法を適用しました。

(注) Shidax USA Corp.、Restaurant Hospitality, LLC.、RA Patina, LLC. 及びその他当該子会社 LLC. 14社は、決算日が12月31日であり取得日が中間決算日のため当該各社の第3四半期末現在の貸借対照表及び取得日より第3四半期までの業績を連結しております。

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	128,038	7.1	5,237	7.4	5,312	13.6	843	174.8
18年3月期第3四半期	119,582	2.6	4,876	114.3	4,678	139.2	306	43.3
(参考)18年3月期	157,950		6,359		6,022		607	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期	2,391	40	-	-
18年3月期第3四半期	870	14	-	-
(参考)18年3月期	1,427	33	-	-

(注) パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期におけるわが国経済は、企業業績の回復基調が顕著となり、設備投資の拡大や雇用情勢の好転など明るい兆しが現れました。このような状況のもと、当社グループが属する業界は、競合激化が続いておりますが総じて堅調に推移し、当社グループの事業計画も概ね順調な進捗を果たしました。前連結会計年度は当社グループ戦略の水平垂直統合型グループ構造の完成により「規模の経済」を追求する体制が完成しました。当連結会計年度は米国の高級レストランチェーンの買

収を始めとして、グループ構造を一層進化させ、個々のセグメントが有する事業価値とノウハウを当社グループ全体で共有し、他社では実現し得ない「総合フードサービス企業として事業領域の範囲の経済」を徹底的に追求し、オンリーワン企業を目指してまいります。

エスロジックス事業は、コントラクトフードサービス事業、メディカルフードサービス事業、レストランカラオケ事業などグループへの食材供給が堅調に推移するとともに、共同購買機構を活用した食材購買のスケールメリット効果が着実に表れてまいりました。消耗品の一元物流事業につきましても原油等の資源高騰の影響が依然として残るものの、一貫してグループ全体の消耗品規格を整理統合・一元化を進めたことにより順調に推移いたしました。

コントラクトフードサービス事業では産業給食業界においての大手同業者間競争が激しいものの、「健康」をキーワードに集団給食が見直されるなど市場に変化の兆しも見られました。このような環境のもと、高付加価値なメニューとして独自ブランド『健美創菜』やグループ全体で共通のこだわり食材を使用した『マザーフードメニューフェア』を実施するなど、同業者との差別化、お客様の満足度向上を図ってまいりました。

メディカルフードサービス事業においては医療保険制度や介護保険法の改定など経営環境は厳しさを増しておりますが、病院施設における外部委託は定着し、国公立施設は外部委託が進みつつあります。また、老人保健福祉施設は開設が多く、外部委託が拡大しております。引き続き営業拡大策として、営業開発本部による情報の集約、付加価値の高い営業提案などグループ総合力を活かした営業開発に取り組んだことにより新規受託の拡大につなげ、営業拡大を図ってまいりました。

レストランカラオケ事業は時間消費型産業との競争もあり、市場環境は非常に厳しい状況でしたが、幅広い世代のお客様にご満足いただけるようお得なランチメニューから高価格帯のセレクトスタイルメニューまで食事メニューを充実させるとともに、テレビCMの放映、ケータイ会員を対象に人気アーティストの限定ライブの開催、人気キャラクターの一日店長等のイベントにも注力し営業力・販売促進を強化いたしました。

コンビニエンス中食事業は主力である病院内売店における環境が大手コンビニエンスストアの出店が進むなど厳しい状況の中、新規店の開発および既存店の収益性向上に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期の連結売上高は概ね計画通りに推移したことで128,038百万円(前年同四半期比7.1%増)となりました。一方、エスロジックス事業の食材差益の貢献、各セグメントにおける原価・経費の管理強化などにより営業利益5,237百万円(前年同四半期比7.4%増)及び経常利益5,312百万円(前年同四半期比13.6%増)及び四半期純利益843百万円(前年同四半期比174.8%増)となり、前年同四半期に対して利益はいずれも大幅に増加いたしました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	93,409	29,954	31.7	84,030 64
18年3月期第3四半期	88,634	29,009	32.7	82,317 88
(参考)18年3月期	85,131	29,345	34.5	82,912 39

(注)平成18年3月期第3四半期及び平成18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「1株当たり株主資本」を「1株当たり純資産」の欄に記載しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	7,247	9,974	2,908	13,571
18年3月期第3四半期	6,854	1,047	4,104	14,204
(参考)18年3月期	8,637	5,033	6,970	19,203

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

財政状態の変動状況

当四半期連結会計期間における総資産は93,409百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,278百万円増加いたしました。これは、資産の部では、子会社株式取得による負ののれんと相殺後ののれんが3,651百万円増加及び有形固定資産が3,715百万円増加したことによります。負債合計は8,042百万円増加いたしました。これは主に、買掛金及び未払金が4,622百万円増加、社債が2,175百万円増加したことによります。この結果、自己資本比率は31.7%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は13,571百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,632百万円減少いたしました。

当第3四半期におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、7,247百万円の資金増加となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益に減損損失を除いて計算される5,333百万円、仕入債務及び未払金の増加が3,164百万円、売上債権の増加が1,257百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、9,974百万円の資金減少となりました。これは主に、営業譲受けによる支出597百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式取得による支出6,768百万円及び有形固定資産の取得による支出1,312百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、2,908百万円の資金減少となりました。これは主に、短期及び長期の借入れによる収入7,686百万円、短期及び長期の借入金の返済による支出12,226百万円及び社債発行による収入2,250百万円などによるものであります。

[参考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	171,000 百万円	6,200 百万円	700 百万円

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 1,689円08銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成19年3月期の業績予想に関しましては、現時点での変更はございません。

(重要な後発事象)

当第3四半期期間終了後、平成19年1月29日開催の当社取締役会において、大新東株式会社と当社との間にて資本業務提携を締結すること、および同社株式の公開買付けを行うことについて決議し、その旨の覚書に調印しております。

詳細につきましては平成19年1月29日付け当社発表の「シダックス株式会社と大新東株式会社との資本業務提携およびシダックス株式会社による大新東株式会社株式の公開買付け実施に関するお知らせ」をご覧ください。

〔添付資料〕

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金	14,273	14,455	181		19,454
2. 受取手形及び売掛金	10,892	9,527	1,364		9,130
3. たな卸資産	2,379	1,664	715		1,378
4. その他	4,272	3,161	1,110		3,229
貸倒引当金	170	77	93		63
流動資産合計	31,647	28,731	2,916	10.1	33,129
固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	29,612	33,747	4,134		26,860
(2) その他	4,340	3,615	725		3,377
有形固定資産合計	33,953	37,363	3,409	9.1	30,237
2. 無形固定資産					
(1) のれん	3,651	-	3,651		-
(2) その他	1,318	1,032	285		1,010
無形固定資産合計	4,970	1,032	3,937	381.2	1,010
3. 投資その他の資産					
(1) 敷金及び保証金	12,135	11,525	610		11,501
(2) その他	12,957	12,311	645		11,533
貸倒引当金	2,254	2,329	75		2,280
投資その他の資産合計	22,838	21,506	1,331	6.2	20,753
固定資産合計	61,762	59,902	1,859	3.1	52,001
資産合計	93,409	88,634	4,775	5.4	85,131

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	11,274	10,161	1,113		9,255
2. 短期借入金	1,142	1,351	208		1,344
3. 一年内返済予定の長期 借入金	10,744	11,699	955		11,533
4. 一年内償還予定の社債	525	75	450		75
5. 未払金	5,714	3,218	2,496		3,111
6. 未払費用	5,369	4,737	631		-
7. 未払法人税等	656	607	48		990
8. ポイント引当金	203	-	203		-
9. 賞与引当金	1,404	879	525		1,669
10. その他	2,290	2,066	223		5,679
流動負債合計	39,325	34,797	4,527	13.0	33,660
固定負債					
1. 社債	2,150	425	1,725		425
2. 長期借入金	19,448	21,029	1,581		18,161
3. 退職給付引当金	415	-	415		-
4. 役員退職慰労引当金	533	499	33		508
5. 連結調整勘定	-	1,572	1,572		1,568
6. その他	1,582	1,069	512		1,088
固定負債合計	24,130	24,596	466	1.9	21,752
負債合計	63,455	59,393	4,061	6.8	55,412
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	230	-	-	373
(資本の部)					
資本金	-	8,930	-		8,930
資本剰余金	-	8,098	-		8,112
利益剰余金	-	12,153	-		12,454
その他有価証券評価差額金	-	202	-		195
自己株式	-	375	-		347
資本合計	-	29,009	-	-	29,345
負債、少数株主持分及び資本 合計	-	88,634	-	-	85,131

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)					
株主資本					
1. 資本金	8,930	-	-		-
2. 資本剰余金	8,112	-	-		-
3. 利益剰余金	12,662	-	-		-
4. 自己株式	352	-	-		-
株主資本合計	29,353	-	-	-	-
評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	162	-	-		-
2. 為替換算調整勘定	116	-	-		-
評価・換算差額等合計	279	-	-	-	-
少数株主持分	322	-	-	-	-
純資産合計	29,954	-	-	-	-
負債純資産合計	93,409	-	-	-	-

2.(要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考) 平成 18 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
売上高	128,038	119,582	8,455	7.1	157,950
売上原価	111,111	103,817	7,293	7.0	137,103
売上総利益	16,927	15,765	1,162	7.4	20,847
販売費及び一般管理費	11,689	10,888	801	7.4	14,487
営業利益	5,237	4,876	360	7.4	6,359
営業外収益	656	350	306	87.5	417
営業外費用	581	548	33	6.1	755
経常利益	5,312	4,678	633	13.6	6,022
特別利益	95	136	40	30.0	250
特別損失	2,644	2,743	99	3.6	2,988
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,763	2,071	692	33.4	3,283
法人税、住民税及び事業税	1,863	1,252	610	48.8	1,873
法人税等調整額	107	568	460	81.1	815
少数株主損失	50	56	5	10.3	13
四半期(当期)純利益	843	306	536	174.8	607

3.(要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高 (百万円)	8,930	8,112	12,454	347	29,149
第3四半期連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			529		529
役員賞与			106		106
四半期純利益			843		843
自己株式の取得				4	4
株主資本以外の項目の第3四半期連結会計期間中の変動額(純額)					
第3四半期連結会計期間中の変動額合計 (百万円)			208	4	203
平成18年12月31日残高 (百万円)	8,930	8,112	12,662	352	29,353

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高 (百万円)	195		195	373	29,718
第3四半期連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当					529
役員賞与					106
四半期純利益					843
自己株式の取得					4
株主資本以外の項目の第3四半期連結会計期間中の変動額(純額)	33	116	83	51	32
第3四半期連結会計期間中の変動額合計 (百万円)	33	116	83	51	235
平成18年12月31日残高 (百万円)	162	116	279	322	29,954

4.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	(参考) 平成18年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	2,763	2,071	3,283
2 減価償却費	2,457	2,877	3,779
3 減損損失	2,570	2,501	2,637
4 連結調整勘定償却額	-	11	15
5 のれん償却額	127	-	-
5 賞与引当金の減少額	728	793	3
6 役員退職慰労引当金の増加額	24	0	8
7 貸倒引当金の増加(減少)額	78	44	108
8 受取利息及び配当金	17	16	22
9 支払利息	446	443	577
10 投資有価証券売却益	62	0	49
11 関係会社株式評価損	37	-	-
12 投資有価証券評価損	31	5	15
13 為替差益	0	0	0
14 固定資産売却益	20	-	-
15 固定資産除却損	4	17	100
16 保証金流動化に伴う売却損	-	149	149
17 売上債権の減少(増加)額	1,257	251	145
18 たな卸資産の増加額	264	355	70
19 未収入金の減少(増加)額	490	587	442
20 仕入債務の増加(減少)額	1,180	835	72
21 未払消費税の増加(減少)額	17	508	448
22 未払金の増加(減少)額	1,983	136	189
23 役員賞与の支払額	106	104	104
24 その他	1,051	1,214	476
小計	9,793	9,496	11,430
25 利息及び配当金の受取額	17	14	22
26 利息の支払額	431	437	570
27 法人税等の支払額	2,132	2,218	2,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,247	6,854	8,637

(単位：百万円)

	当四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	前年同四半期 (平成 18 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 18 年 3 月期
区 分	金 額	金 額	金 額
投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	308	628	654
2 定期預金の払戻による収入	328	328	354
3 有形固定資産の取得による支出	1,312	1,651	1,827
4 有形固定資産の売却による収入	81	36	6,303
5 無形固定資産の取得による支出	517	119	195
6 投資有価証券の取得による支出	2	24	26
7 投資有価証券の売却による収入	122	2	5
8 連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	6,768	-	-
9 営業譲受けによる支出	597	-	-
10 貸付による支出	162	96	97
11 貸付金の回収による収入	102	265	292
12 敷金、保証金、建設協力金等の契約による支出	708	391	459
13 敷金、保証金、建設協力金等の契約解除による収入	221	100	197
14 敷金、保証金、建設協力金等の売却による収入	-	1,127	1,127
15 その他	452	3	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,974	1,047	5,033
財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入れによる収入	1,126	2,000	2,000
2 短期借入金の返済による支出	2,237	2,695	2,700
3 割賦の返済による支出	12	300	313
4 長期借入れによる収入	6,560	6,200	6,200
5 長期借入金の返済による支出	9,989	9,083	12,117
6 社債発行による収入	2,250	490	490
7 社債償還による支出	75	-	-
8 配当金の支払額	529	532	532
9 自己株式取得による支出	1	184	184
10 自己株式売却による収入	-	-	188
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,908	4,104	6,970
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	0	0
現金及び現金同等物の増加(減少)額	5,632	1,701	6,700
現金及び現金同等物の期首残高	19,203	12,503	12,503
現金及び現金同等物の期末残高	13,571	14,204	19,203

5. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	エスジックス 事業	コトラクフ ドサービス 事業	メディアカフ ドサービス 事業	レストラン 加竹事業	コンビニ 中食事業	その他の 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	4,490	37,330	30,243	45,537	9,411	1,025	128,038	-	128,038
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	37,901	23	10	76	-	688	38,700	(38,700)	-
計	42,392	37,353	30,254	45,613	9,411	1,714	166,739	(38,700)	128,038
営業費用	39,552	36,399	30,734	40,303	9,529	1,988	158,508	(35,707)	122,801
営業利益又は 営業損失()	2,839	953	480	5,309	118	273	8,230	(2,993)	5,237

前年同四半期(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	エスジックス 事業	コトラクフ ドサービス 事業	メディアカフ ドサービス 事業	レストラン 加竹事業	コンビニ 中食事業	その他の 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	3,945	30,316	29,396	46,190	8,934	799	119,582	-	119,582
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	30,512	39	11	2	-	550	31,117	(31,117)	-
計	34,457	30,356	29,408	46,193	8,934	1,349	150,700	(31,117)	119,582
営業費用	32,551	28,637	29,447	41,262	9,054	1,660	142,613	(27,907)	114,706
営業利益又は 営業損失()	1,906	1,718	39	4,930	120	310	8,086	(3,209)	4,876

〔所在地別セグメント情報〕

当四半期(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	北米	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	122,759	5,279	128,038	-	128,038
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	122,759	5,279	128,038	-	128,038
営業費用	117,196	5,605	122,801	-	122,801
営業利益又は 営業損失()	5,562	325	5,237	-	5,237

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

北米.....米国

3. 営業費用には、連結子会社の株式・持分取得および事業の譲受時に発生したのれん償却額を含めて表示しております。

前年同四半期(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。